

羅 針 盤

令和4年5月18日発行

三和中学校 第2学年部

第 4 号 文責 中尾

「有り難い」は「有るのが難しい」貴重なこと

ゴールデンウィークのある日、車を運転しているときに横断歩道を渡ろうとしている男の子がいました。車を止め、男の子が道路を横切るのを待ちました。横断歩道を渡り切ったその子は、私の方を向いてにっこり笑顔で頭を下げました。

この子の行為をどう思いますか。とても立派だととらえる人もいます。反対に、止まった車に対して頭を下げる必要はないんだ…という声もあります。それは、横断歩道を渡ろうとしている人がいたら、運転している者は停止しなければならないという規則がある…という理由です。あなたは、この子の行為をどう思いますか。

この子が頭を下げたのは、「止まってくれてありがとう」という感謝の気持ちを表現したものです。私は、日本人の礼儀正しさの表れの一つだと感じます。昔から、私たちは、感謝の気持ちを表情や動作、ありがとうの言葉で相手に伝えてきました(柔道や剣道では作法^{さほう}と呼ばれます)。そんな動作や言葉の大切さを理解して身に付けることが、人間関係の距離を縮め、良好な間柄をつくることにつながります。「親しき中にも礼儀あり」です。感謝の気持ちを動作や言葉で表していきたいものです。

ありがとうの反対語は「当たり前」です。ありがとうは、「有り難い」からきています。「有^あるのが難^{むず}しい」ほど貴重なこと、珍しいことなんですね。



<保護者の皆様にお知らせ>

三和中学校ホームページに、生徒の様子や活躍の姿、先生方の授業の様子などをアップしていきます。気まぐれなアップで不定期となりますが、時間のある時にチェックしてみてください。

右は三和中ホームページのQRコード ⇒

